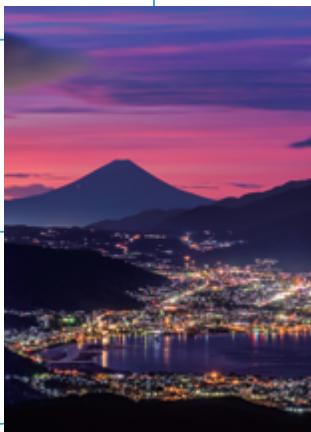
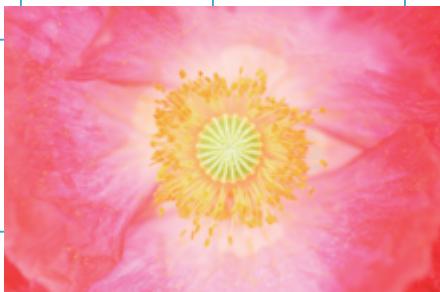


TAMRON

株主通信

第71期 中間報告書



2017年1月1日



2017年6月30日



代表取締役社長 鯨坂 司郎

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当社第71期上半期(2017年1月1日~2017年6月30日)の営業概要について、ご報告申し上げます。

当上半期における経営環境は、地政学的リスク等の懸念を抱えながらも、世界経済は緩やかな景気回復基調で推移し、当社関連市場であるデジタルカメラ市場においても、底打ちの兆しが見られました。

このような状況の下、当社グループの当上半期における経営成績は、レンズ関連事業及び特機関連事業が増収となりましたが、写真関連事業が減収となったことにより、売上高は269億12百万円(前年同期比11.8%減)となりました。

利益面につきましては、新製品投入効果等による売上総利益率の改善や、販売費及び一般管理費の削減を図りましたが、減収による売上総利益額の減少を吸収しきれず、営業利益は11億77百万円(前年同期比14.5%減)、経常利益は11億43百万円(前年同期比23.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億12百万円(前年同期比2.4%減)となりました。

通期の見通しについて

当上半期において利益面は計画を上回ったことから、通期の利益見通しにつきましても上方修正いたしました。新製品の積極的な投入等により、通期での増収増益を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、これからも引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

配当金について

中間配当金につきましては、当上半期業績や財務状況等を総合的に勘案し、前年同期と同額となる1株につき25円とさせていただきます。

Contents

ごあいさつ	1	連結財務ハイライト	7
最新情報	2	連結財務諸表	8
トピックス	3	タムロンのものづくり	9
フォトコンテスト開催告知	4	会社情報	10
セグメント別事業の概況	5-6		

TAMRON Now

最新情報

新製品紹介

世界初^{*1}、18-400mmをカバーする超望遠高倍率ズームレンズ 18-400mm F/3.5-6.3 Di II VC HLD (Model B028)

超望遠400mm(35mm判換算620mm相当)、ズーム倍率22.2倍の幅広い撮影領域を実現する超望遠高倍率ズームレンズ誕生。最新の光学設計、高精度かつ剛性の高いメカ設計、独自開発のAFモーター「HLD (High/Low torque-modulated Drive)」、手ブレ補正機構の搭載など、これまでに培った高倍率ズームレンズのノウハウを、長さ121.4mm、質量705g^{*2}のコンパクトなボディに凝縮。旅行写真をはじめ、様々な日常のシーンで気軽にお楽しみいただけます。

^{*1} デジタル一眼レフカメラ用交換レンズとして(2017年5月現在。タムロン調べ)。
^{*2} 長さ、質量は二コ用の数値です。

EISAアワード受賞



NEW

クラストップレベルの高性能・高画質を達成した大口径標準ズームレンズ SP 24-70mm F/2.8 Di VC USD G2 (Model A032)

新制御システム「デュアルMPU」を採用することで、クラス最高^{*1}の手ブレ補正効果5段^{*2}と精緻なAFピント合わせ及び快適なAFスピードを達成。レンズエレメントには、より透過率の高い硝材を使用し、優れた色の再現性と描写性能を実現しました。さらに、ナノテクノロジーを駆使したタムロン独自のeBANDコーティングを施すことで、逆光時で発生しがちなゴースト・フレアも強力に抑制し、トータルな光学性能の向上に成功。風景、ポートレート、報道など様々なシーンで活躍するズームレンズです。

^{*1} 35mm判フルサイズ対応のデジタル一眼レフカメラ用24-70mm F/2.8レンズにおいて(2017年5月現在。タムロン調べ)。
^{*2} CIPA (カメラ映像機器工業会) 規格準拠。キヤノン用:EOS-5DMKⅢ使用時、ニコン用:D810使用時。



NEW

受賞

EISAアワード2機種同時受賞 タムロンレンズは12年連続受賞の快挙!

18-400mm F/3.5-6.3
Di II VC HLD
(Model B028)



SP 150-600mm F/5-6.3
Di VC USD G2
(Model A022)



新製品発売

SP 70-200mm F/2.8 Di VC USD G2 (Model A025) 発売!

大幅な進化を遂げた最新の大口径望遠ズームレンズ誕生! 光学設計を一新、望遠撮影の可能性を拓げるAF速度向上と手ブレ補正5段を実現しました。



Model A025

新製品発売

10-24mm F/3.5-4.5 Di II VC HLD (Model B023) 発売!

手ブレ補正機構「VC」を搭載しながら小型化を実現したクラス最大の焦点レンジを持つ超広角ズームレンズです。



Model B023

受賞

「デジタルカメラグランプリ2017 SUMMER」総合金賞・金賞を受賞!

〈交換レンズ/デジタル一眼〉部門において、SP 70-200mm F/2.8 Di VC USD G2 (Model A025) が総合金賞を受賞、さらにSP 150-600mm F/5-6.3 Di VC USD G2 (Model A022) 及び10-24mm F/3.5-4.5 Di II VC HLD (Model B023) が金賞を受賞しました。



受賞

タムロンレンズが4年連続「TIPAアワード」受賞!

SP 150-600mm F/5-6.3 Di VC USD G2 (Model A022) が「TIPAアワード2017/BEST DSLR TELEPHOTO ZOOM LENS」を受賞し、タムロンレンズとして4年連続の「TIPAアワード」受賞となりました。



Model A022

写真関連

SP 70-300mm F/4-5.6 Di VC USD (Model A030) 発売

写真関連

SP 70-200mm F/2.8 Di VC USD G2 (Model A025) 発売

写真関連

10-24mm F/3.5-4.5 Di II VC HLD (Model B023) 発売

受賞

第20回環境コミュニケーション大賞「優良賞」を3年連続受賞

受賞

「デジタルカメラグランプリ2017 SUMMER」において、SP 70-200mm F/2.8 Di VC USD G2 (Model A025) が総合金賞、他2機種が金賞を受賞



CSR

自社基準で環境配慮製品を追加認定

受賞

SP 150-600mm F/5-6.3 Di VC USD G2 (Model A022) が「TIPAアワード2017」を受賞

“マクロレンズのタムロン”が主催する、マクロレンズ限定のフォトコンテスト

第14回 タムロン・マクロレンズ フォトコンテスト

募集期間 2017. 5.15 月 → 10.15 日



作品 募集中

グランプリ (全応募作品より選出・1名) 賞金 20 万円 + 副賞 タムロンレンズ

ネイチャーの部

植物や昆虫、小動物などのネイチャー写真を対象とします。

- 金賞 (2名) 賞金 5 万円 + 副賞タムロンレンズ
- 銀賞 (2名) 賞金 5 万円
- 銅賞 (4名) 賞金 1 万円
- 入選 (5名) 賞金 5 千円
- タムロン賞* (1名) 賞金 5 万円

審査員 石井 孝親 氏 (写真家)

ノンジャンルの部

人物・アクセサリー・料理など、ネイチャー写真に限らず広く募集します。

- 金賞 (2名) 賞金 5 万円 + 副賞タムロンレンズ
- 銀賞 (2名) 賞金 5 万円
- 銅賞 (4名) 賞金 1 万円
- 入選 (5名) 賞金 5 千円
- タムロン賞* (1名) 賞金 5 万円

審査員 岡本 洋子 氏 (写真家)

*タムロン賞・・・タムロンマクロレンズで撮影された作品から選出されます。



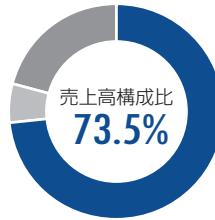
第13回受賞作品より

応募の詳細や規約等につきましては、本コンテストのウェブサイトでご確認ください。 <http://www.tamron.jp/special/contest/macrocon2017/>

セグメント別事業の概況

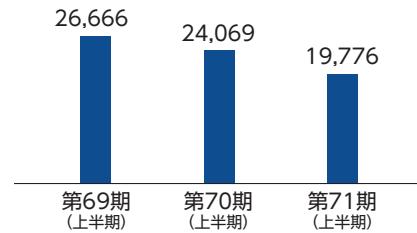
写真関連事業

自社ブランドは、欧州市場で既存製品が伸び悩んだこと等により、減収となりました。新製品につきましては、2016年9月に超望遠ズームレンズ SP 150-600mm VC USD G2 (A022)、2017年2月に大口径望遠ズームレンズ SP 70-200mm F/2.8 USD G2 (A025)、3月に超広角ズームレンズ 10-24mm VC HLD (B023) を発売し、A022は「TIPAアワード2017」を受賞、A025も「デジタルカメラグランプリ 2017 SUMMER」において総合金賞を受賞する等、国内外で高い評価を得ております。

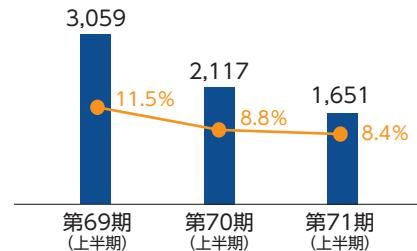


また、OEM関連は販売数量の減少に伴い減収となりました。このような結果、写真関連事業の売上高は197億76百万円(前年同期比17.8%減)、営業利益は16億51百万円(前年同期比22.0%減)となりました。

売上高 (百万円)

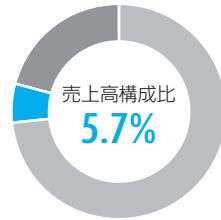


営業利益(百万円) / 営業利益率



レンズ関連事業

コンパクトデジタルカメラ用レンズは、市場の大幅縮小が継続しておりますが、熊本地震の影響による部品供給不足が解消した反動等もあり、回復傾向となったこと等により、当社においても販売数量が大幅に増加したことに伴い増収となりました。

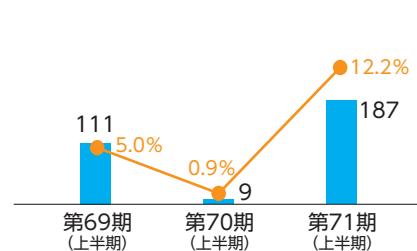


このような結果、レンズ関連事業の売上高は15億32百万円(前年同期比51.7%増)、営業利益は1億87百万円(前年同期は営業利益9百万円)と、大幅な増収増益を達成いたしました。

売上高 (百万円)

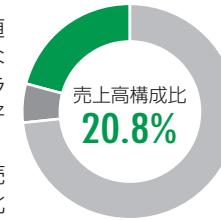


営業利益(百万円) / 営業利益率

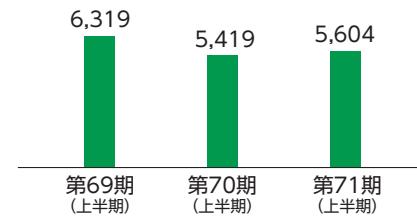


特機関連事業

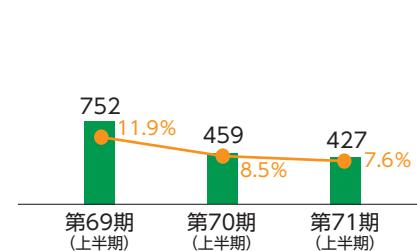
監視カメラ用レンズは高付加価値製品の堅調な推移等により増収となり、高い市場成長を続ける車載カメラ用レンズも前年同期同様に増収と好調を維持いたしました。このような結果、特機関連事業の売上高は56億4百万円(前年同期比3.4%増)となりましたが、営業利益はカメラモジュール等の新規分野への先行投資等もあり、4億27百万円(前年同期比6.9%減)となりました。



売上高 (百万円)



営業利益(百万円) / 営業利益率



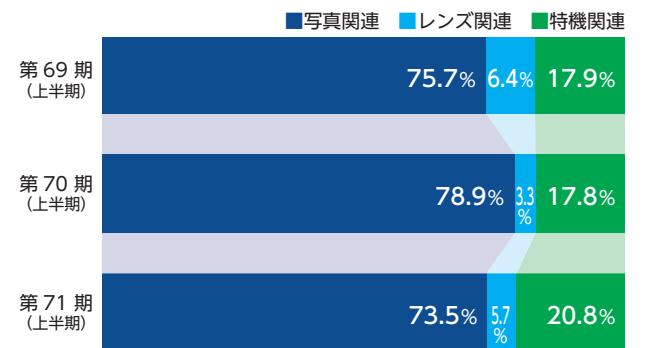
セグメント別データの推移

(百万円)

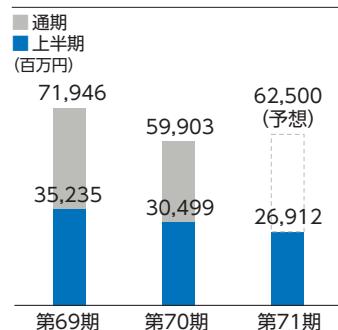
	第69期 (上半期)	第70期 (上半期)	第71期 (上半期)	
写真関連	売上高	26,666	24,069	19,776
	セグメント利益	3,059	2,117	1,651
レンズ関連	売上高	2,249	1,009	1,532
	セグメント利益	111	9	187
特機関連	売上高	6,319	5,419	5,604
	セグメント利益	752	459	427
セグメント利益の調整額*	△ 1,159	△ 1,209	△ 1,089	
連結営業利益	2,764	1,377	1,177	

*セグメント利益の調整額とは、当社の総務、経理等の本社部門に係わる配賦不能営業費用等です。

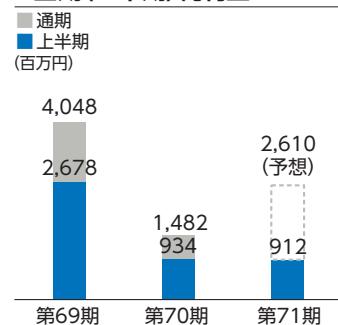
連結売上高構成比率の推移



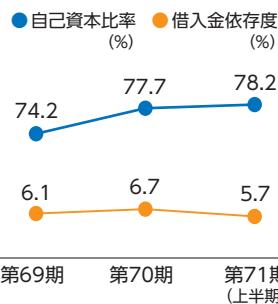
●売上高



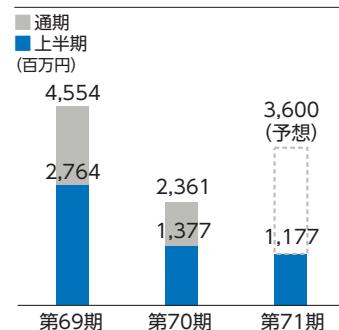
●親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益



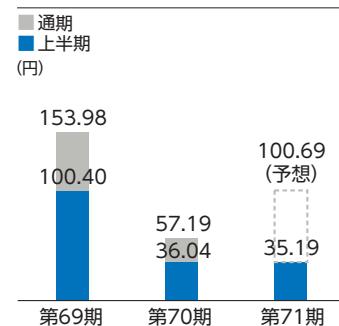
●自己資本比率／借入金依存度



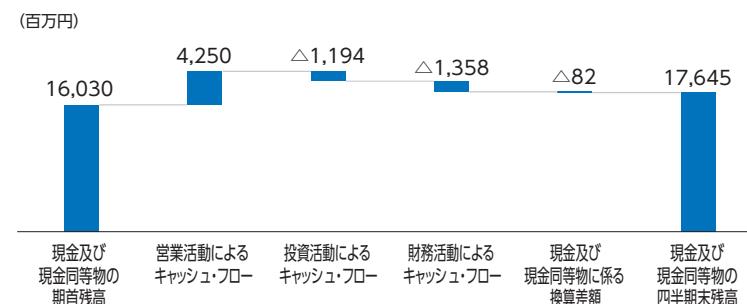
●営業利益



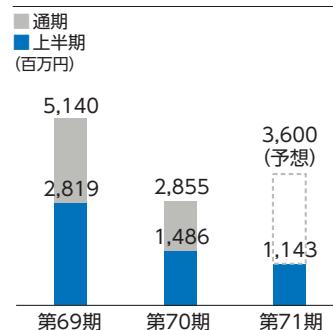
●1株当たり当期(四半期)純利益



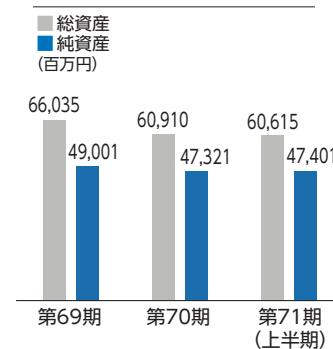
●キャッシュ・フロー (第71期上半期)



●経常利益



●総資産／純資産



連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 (2017年6月30日現在)	前期末 (2016年12月31日現在)
資産の部		
流動資産	41,737	41,590
固定資産	18,878	19,320
資産合計	60,615	60,910
負債の部		
流動負債	10,982	11,388
固定負債	2,231	2,200
負債合計	13,214	13,589
純資産の部		
株主資本	44,550	44,416
その他の包括利益累計額	2,850	2,905
純資産合計	47,401	47,321
負債純資産合計	60,615	60,910

Point

流動資産

受取手形及び売掛金が14億28百万円減少した一方、現金及び預金が16億15百万円増加したこと等により、流動資産は前期末に比べて1億47百万円増加し、417億37百万円となりました。

流動負債

短期借入金が5億49百万円減少したこと等により、流動負債は前期末に比べて4億5百万円減少し、109億82百万円となりました。

純資産

利益剰余金が1億34百万円増加したこと等により、純資産は前期末に比べて79百万円増加し、474億1百万円となりました。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計 (2017年1月1日から 2017年6月30日まで)	前第2四半期累計 (2016年1月1日から 2016年6月30日まで)
売上高	26,912	30,499
売上原価	17,910	20,760
売上総利益	9,002	9,738
販売費及び一般管理費	7,825	8,361
営業利益	1,177	1,377
営業外収益	151	204
営業外費用	185	95
経常利益	1,143	1,486
特別利益	122	—
特別損失	—	77
税金等調整前四半期純利益	1,265	1,409
法人税等	353	474
四半期純利益	912	934
親会社株主に帰属する四半期純利益	912	934

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計 (2017年1月1日から 2017年6月30日まで)	前第2四半期累計 (2016年1月1日から 2016年6月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,250	4,662
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,194	△1,615
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,358	△595
現金及び現金同等物に係る換算差額	△82	△1,559
現金及び現金同等物の増減額	1,615	891
現金及び現金同等物の期首残高	16,030	14,192
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,645	15,083

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益が12億65百万円、減価償却費が15億99百万円、売上債権の減少額が11億12百万円となったこと等により、営業活動によるキャッシュ・フローは42億50百万円の収入(前年同期は46億62百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出が14億66百万円となったこと等により、投資活動によるキャッシュ・フローは11億94百万円の支出(前年同期は16億15百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の返済による支出が4億25百万円、配当金の支払額が7億77百万円あったこと等により、財務活動によるキャッシュ・フローは13億58百万円の支出(前年同期は5億95百万円の支出)となりました。

VIRTUAL TOUR

CAMERA LENS MANUFACTURING

一眼レフ用レンズができるまで

<http://www.tamron.co.jp/monozukuri/>

成形編

タムロンの一眼レフ用ズームレンズは、約250個もの部品を使用しています。研磨やコーティングを経てレンズを仕上げる「レンズ加工」、プラスチック材料を金型で射出する「成形」、アルミダイキャストを削り出す「金属加工」の3工程で部品を製造します。組立工程では、サブ工程で手ブレ補正機構、AF用ドライブ機構、絞り機構などをユニット化し、メイン工程で各ユニットとレンズ群がひとつの鏡枠に組み込まれます。各工程で各種の検査を繰り返し、調整を行い、組立を完了します。今回は、成形工程についてご紹介します。



プラスチック素材搬入

プラスチック部品の原材料となる樹脂ペレットは、部品ごとに配合率が異なる。

材料投入・成形

加熱され溶けたプラスチック素材は、成形機に組み込んだ金型に流し込まれる。冷却、硬化した部品は、ロボットアームで取り出され整然と並べられる。



塗装

各種リングやレンズフードなどの外装部品は、性能、外観向上のために塗装される。



印刷

塗装後の部品に、文字や記号など必要情報を印刷。



アニール

印刷が済んだ部品は、印字を定着させるため、熱処理される。

検査

塗装と印刷を施したプラスチック部品は、最後に色ムラや変形などを検査。



組立工程へ

会社情報

2017年6月30日現在

会社概要

商号 株式会社タムロン
 創業 1950年11月1日
 設立 1952年10月27日
 本社 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地
 資本金 69億23百万円
 従業員数 4,432名(連結)

役員

代表取締役社長 鯨坂 司郎
 取締役副社長 新井 宏明
 取締役副社長 志村 忠寛
 取締役副社長 桜庭 省吾
 専務取締役 大瀬 英世
 専務取締役 濱田 憲一
 専務取締役 阿保 正行
 常務取締役 市川 敬
 常務取締役 川鍋 宏
 常務取締役 増成 弘治
 取締役 北爪 泰樹
 取締役 大塚 博司
 取締役 張 勝海
 取締役 清水 秀雄*
 取締役 横瀬 三亀夫*
 常勤監査役 土屋 次男
 常勤監査役 並木 孝行*
 監査役 利根 忠博*
 監査役 西本 恭彦*

注1. ※印の取締役は社外取締役、監査役は社外監査役であります。
 注2. 当社は、取締役 清水 秀雄、取締役 横瀬 三亀夫及び監査役 並木 孝行を東京証券取引所の定める独立役員として、同取引所に対し届け出ています。

株式の状況

発行可能株式総数 80,000,000株
 発行済株式の総数 25,950,000株
 単元株式数 100株
 株主数 5,470名 ※単元未満除く

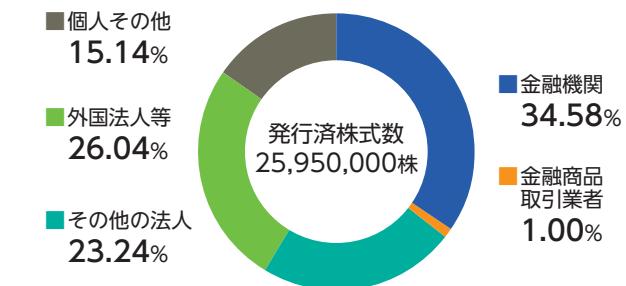
大株主

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
株式会社ニューウェル	4,898	18.87
ソニー株式会社	3,129	12.06
株式会社埼玉りそな銀行	1,122	4.32
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NV101	930	3.58
HAITONG INTERNATIONAL SECURITIES COMPANY LIMITED 700700	752	2.90
THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LTD - HONG KONG PRIVATE BANKING DIVISION-CLIENT ACCOUNT	733	2.82
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	690	2.66
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	644	2.48
BNP PARIBAS SEC SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/ ABERDEEN GLOBAL CLIENT ASSETS	592	2.28
日本生命保険相互会社	580	2.23

注. ソニー株式会社の持株数3,129千株は、みずほ信託銀行株式会社へ委託した信託財産であります。信託約款上、議決権の行使並びに処分権については、ソニー株式会社が指図権を留保しております。

株式所有者別分布

※単元未満除く



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会 毎年 12月31日 期末配当 毎年 12月31日 中間配当 毎年 6月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) ※ 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告 ※ ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 当社ホームページ http://www.tamron.co.jp

お知らせ

- **住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について**
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- **未払配当金の支払について**
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株式会社タムロン

〒337-8556 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地
TEL 048-684-9111(代) FAX 048-683-8289 <http://www.tamron.co.jp>

■ IR情報関連に関するお問い合わせ：経営企画室
TEL 048-684-9114(午前9:00~午後5:20) FAX 048-683-8282 e-mail: kabushiki@tamron.co.jp

コーポレートサイトをリニューアルしました

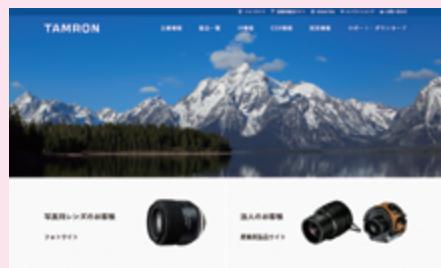
お客様に必要な情報をより分かりやすくお届けできるよう、コーポレートサイトをフルリニューアルしました。パソコンだけでなくスマートフォンやタブレットからも閲覧しやすいレイアウトで、今後も適切な情報発信を行ってまいります。

主な掲載コンテンツ

- 企業情報
- 製品一覧
- IR情報
- CSR情報
- 採用情報
- サポート・ダウンロード

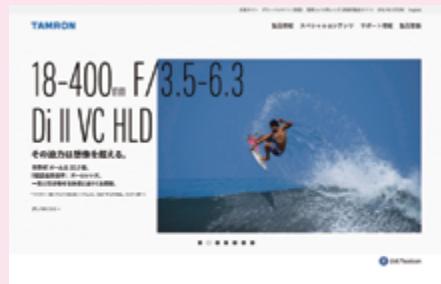
コーポレートサイト

URL <http://www.tamron.co.jp>



タムロン フォトサイト (写真レンズ用フォトサイト)

URL <http://www.tamron.jp>



UD FONT
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



本冊子は環境保全のため、植物油インキで印刷しています。